



第6回生駒市国際交流の集い

わいわいワールド盛大に開催

11月25日(土)10時から、生駒市図書館で市教育委員会主催「第6回いこま国際交流の集いわいわいワールド」が開催されました。



生駒市教育委員会の大西長治生涯学習部長の開会挨拶でオープニングセレモニーがスタートしました。市内各地から集まった90名の子どもたちは、6班に分かれて外国人市民が担当するブース(韓国・朝鮮、スリランカ、チリ、中国、ロシア、ニュージーランドの6箇所)を順々に回り、各国の民族文化や生活、民族の遊び、楽器などを体験しました。



この日は、残念ながら、ノルウェーのマーリト・ブルアセットさんが体調不良でお休みに、急遽世界の遊びコーナーが設けられました。

世界の文化を見て回った子どもたちは、休憩時間に世界のおやつを食べ

ようコーナーで各国のもちや紅茶に舌鼓をうちました。



同伴の保護者たちも、民族衣装の試着コーナーなどで、思い思いの国際交流を楽しみました。



世界の音楽・ダンスを楽しもう

その後舞台上、生駒オリニ会(子ども会)による『チャンゴ』の演奏、生駒市のALT(外国語指導助手)であるニュージーランドのイアン・フースクさんによるマオリの踊り『ハカ』の披露、スリランカのジャヤンタさん、ミラーニさんによる孔雀の踊りと歌、朱志栄さんと朱奇さんによる、中国琵琶と二胡の合奏等が披露されました。



最後に、自主学习グループ民謡つき会の皆さんによる日本の文化

披露の後、どんどこ祭りのテーマソング「ふれあい音頭」をみんなでわっしょいわっしょいと踊り、にぎやかなフィナーレを迎えました。



いこま国際交流協会も参加

結成直後のいこま国際交流協会も、世界のお茶コーナーを担当し、あわせて協会結成の経緯などを掲示の上、広報活動を行いました。その結果、新たに8名の方が賛同人になり、11月末現在、賛同人数は113名になりました。



世界の遊びコーナーで、子どもたちと将棋を楽しむ大西部長さん。



中国の民族衣装もあでやかに子どもたちも、ハイポーズ!



